

平和・人権
社会・宗教
政治と暮らし
分かち合い

No.41

共に生きる

編集／〒806-0049 北九州市八幡西区穴生1-8-10／瀬下幸弘 FAX093-622-1290

やよい
弥生
3
2014

障がい者と一緒に
駆除水池歩こう会
4月6日(日)11時スタート
集合／駆除水池白木橋駐車場
ピンゴの景品募集します。
(山田・有吉・濱・瀬下まで)

■ 内容 / ①ハンセン病問題とは、をスライドで学ぶ ②園内と資料館見学・入所者のお話を聞く	■ 参加費 / 中学生以上一人2500円 弁当注文は別途500円	■ 訪問先 / 熊本県菊池恵楓園(国立ハンセン病療養所)	■ 参加費 / 中学生以上一人2500円 弁当注文は別途500円	■ 訪問定員 / 23名(マイクロバス)	■ 日時 / 4月29日(火・休日) 午前8時出発(集合場所は4月号でお知らせ) 午後5時40分帰
---	-------------------------------------	------------------------------	-------------------------------------	----------------------	---

第13回 ハンセン病療養所訪問

市民の方の参加が毎年増えています。
今年も定員になり次第満額となります。

たとえ政府であっても 日本国憲法を勝手に解釈すべきではない

安倍首相は次のような発言を行いました。
「最高の責任者は私だ」「今までの(憲法解釈の)積み上げのままでいくと
いうのであれば、そもそも安保法制想をつくる必要はない」「集団的自衛
権の行使が認められるという判断も政府が適切な形で新しい解釈を明らか
にすることによって可能で、憲法改正が必要だという指摘は必ずしも
当たらない」

これらの発言の裏には、「憲法9条は個別の自衛権はもとより、集団的
的自衛権の行使や国連の集団安全保障活動への参加を禁ずるものではないと解釈すべ
きもの」とした2008年の安保法制想の
考えを土台としていることがはつきりと見
えます。憲法9条の文言をそのままにして
兵が可能になる道を開くことになるのです。
憲法は権力者の横暴を縛るものでもあると
いいう立憲主義を壊そうとする策略をわたし
たちは看過できません。国家権力が国民を
縛ろうとする全体主義が席卷しそうな今こそ、
平和を叫ぶときです。

天皇又は摂政及び國務大臣、國會議員、裁判官そ
の他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務
を負ふ。

原発事故から3年。 核の火を止め、消そう。 さよなら原発 3・9北九州集会

[とき] 2014年3月9日(日)
10時~15時
[ところ] 三萩野公園(小倉北区)

3月のお知らせ

- ◆ 3月6~9日 北九州関門ACO台湾ACOと交流(下関)
- ◆ 3月7日(金)国際女性デー記念北九州集会ムーブ2F…18時30分
- ◆ 3月9日(日)さよなら原発北九州集会(三萩野)…10時
正義と平和全国大会実行委員会(大名町)…14時30分
英語ミサと交流(黒崎)…15時
- ◆ 3月10日(月)社会福音部会(アドラック)…19時
- ◆ 3月16日(日)北九州平和の集い実行委員会(戸畠)…15時
- ◆ 3月22日(土)キリスト者9条(西南KCC)…14時
- ◆ 3月23日(日)虹の会(黒崎教会-分かち合い)…ミサ後
- ◆ 4月5日(土)下関アムネスティ(下関市民活動センター)…14時
- ◆ 4月6日(日)歩こう会(駆除水池)…10時50分集合11時出発

ときのことば

…政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。そもそも国政は国民の厳肅な信託によるものであって、その権威は国民に由来し、…

(日本国憲法前文より)

援助修道会 修道院より

3月11日:イチイチ祈りの会

場所は修道院聖堂、午後7時から。
どなたでもお出でください。

歴史記念北九州人権集会 田中伸尚さん(ノンフィクション作家)講演

2月11日(火)カトリック小倉教会

一戦後、最も危険な曲り角に立ってー

「今回で19回目となります。崔昌華さんが言われておりました『在日の視点から日本の現状を考えることを今日の交わりを通してあけぼのを見たいと思います。』と主催者を代表して在日大韓キリスト教会の朱(チュ)牧師挨拶で始まりました。また司会者から「田中先生」と呼ばないでほしい、先生という言葉は使わないでと紹介がありました。

田中さんは冒頭で、チオエ・チャンホアさんとのことを執筆中で9月1日の関東大震災記念の日に合わせて出版したいと語りました。チオエ・チャンホアさんの行動力・持続力・瞬発力など類いまれなエネルギーはどこからきているのかが出版する本のテーマとのことでした。

【田中伸尚さんの講演概要】

テーマは「戦後、最も危険な曲り角に立って」。数日前の都知事選挙で田母神候補が61万票を獲得したが、年代別にみると20代~30代の若者が彼に投票したということが驚きであり、戦後体験を継承してきた世代の支持は少なかった。田母神候補は世界の歴史認識を否定し、首相の靖国参拝を



支持しつつ外国人の参政権に反対の立場。若い世代に支えられていることが深刻である。安倍政権の軍事的性格は沖縄処分、日本版NSC、秘密保護法、原発維持、NHK電波支配、北朝鮮を射程に入れた訓練などに現れている。しかし軍事優先にするには、国民の意思固めが必要で靖国の必要性がある。参拝行為は「国家は決して靖国神社を放置していない」というメッセージ性を持っていること。戦後保守勢力は建国記念の日、元号、国旗国歌などを法制化させたが、靖国だけはまだ法制化されていないことにいらだっている。靖国参拝の違憲裁判を起こすことは正攻法だが、「9条にノーベル賞を」などの抵抗の仕方もある。チオエ・チャンホアさんは抵抗という言葉は使っていないが、「あきらめ」「不可能」がない。いつも希望を持っていた。人権の核心は参政権だと言っている。

最後に「絶望するには、いい人が多すぎる。希望を持つには悪いやつが多すぎる」井上ひさしの戯曲を紹介して締めくくりました。

※編集の都合上、講演内容
の要点を掲載しています。
文責／編集部



日本軍「慰安婦問題」とは何か

山下明子さんがその問題点を語る(4)

前号のポイント

被害者ご自身が50年間の沈黙を破って名乗り始めたことがとても大事な点であること。またそのようにできる素地が韓国社会に生み出されたこと。そして国連での女性に対する暴力撤廃宣言などが出たこと。

〈問題を解決していくための3つのポイント〉

国連での女性に対する暴力撤廃宣言などが出た「慰安婦」の人たちが証言し始め、日本軍慰安婦問題が世界中の性暴力問題の中心となってきたのに、なぜ20年間も解決しないのでしょうか。もちろん日本の問題なのですが、3つの視点からしっかり考える必要があります。

一つは支援者です。これは名乗り出た被害者だけの運動ではないということです。被害者はたくさんいますけれども、日本の場合、強姦と

いうのは親告罪です。本人が訴えていかなければならぬのです。こうなるとほとんどの被害を受けた人々は“恥ずかしい”とか“罪意識”を持ち、隠しておく方がいいとなってしまいますのでなかなか名乗り出ることができません。親に話しても「隠して、黙っておいたほうがいい」という感じになります。また警察に訴えると2回目、3回目とレイプされてしまうようなひどい目にあったりと。そこで女性に対する性暴力のないことを望む人たちと連帯しながらそういう世界を築いていこうとする動きが始まります。特に戦時下における性暴力を解決するには、戦争のない世界をつくらなければだめだとなります。被害者との関わりは、まずは同調からなんですが、そのうち支援者たちが、こういう社会を作らないといけない、たとえ法律があってもきちんと実践される社会を作っていくといけないという運動が必要となります。(次号へ)

2014年9月13日～15日 カテドラル大名町教会

基調講演はどなたが？　どのような分科会があるの？…などについて、9月号までより細かくご紹介していきます。

1 基調講演のカン・ウイル司教って？



カン・ウイル司教
写真提供／正義と平和事務局

「姜 禹一」司教は韓国済州教区司教で、日本語は大変流暢に話します。正義と平和全国集会ではその大会に基調講演を取り入れており福岡大会では姜 禹一(カン・ウイル)司教に語っていただきます(9月13日、午後2時半～カテドラル)。

カン司教は現在韓国政府の済州島海軍基地建設に反対をされています。日本でいうならば沖縄のような歴史とだぶります。済州島(チェジュド)と言えば「4・3事件」として最近知られるようになりました。1948年ときの李承晩(リ・スンマン)大統領が南労党の立てこもる山に大部隊を派遣して討伐作戦を開始し、村の95%を焼き払い、約3万人(島民の10%)を虐殺した事件です。いかに戦時中であったとはいえ、ジェノサイドに準じる犯罪行為が行われました。

現在、韓国政府はこれについて一切口を封じています。カン司教は「恥ずかしい話だがカトリック教会も公式に4.3事件について真剣に考えてこなかっただし、この間の無関心と沈黙を謝罪していない。」と語っています。2000年にノ・ムヒョン大統領が公式的に島民と遺族に謝罪したが、「一言で復元されない歴史的真相を隠さずありのままに後世に伝え記憶することが必要。国家権力による非人道的な犯罪が繰り返されることのないよう、誓わねばならない。」とも言っています。そして今、海軍基地建設に反対し「済州平和の島実現のためのカトリック連帯の路上ミサ」が毎日行われています。「キリスト者の信仰も基本的に自分が生きている現実に関わっていかなければ偽者である。すべてのキリスト者は恐るべき武力から世を救うために積極的に働くなければならない。私は済州が海軍基地を退けて韓国全体のために平和の種をまき、またアジアの軍拠競争を阻む礎となることを切に願う」と述べています。(JP通信172より)

このように話すカン・ウイル司教が、9月にカテドラル大名町で基調講演をします。「いのちを大切にする社会をめざして」のテーマに添ったお話をされるのではないでしょうか。

2月23日 16名参加

分かち合のひととき

虹の会

次回3月23日ミサ後。
どなたでもご参加ください。

－人は立場や考え方を超えてつながることが出来る－

『「一人ひとりに寄り添う」－漆原比呂志氏に聞く』「福音宣教」編集長鈴木隆氏著

漆原氏（カトリック東京ボランティアセンター事務局長）は、原発事故による放射能漏れから避難を強いられる福島の避難家族の母親達と関わり続けています。その漆原氏の話を聞いた鈴木氏の思いをもとに分かち合いました。

支援と寄り添うことの違い、寄り添うことの難しさ、そして寄り添うことの大切さが分かち合わされました。「イエスは、立場や考え方を通して目

の前にいる一人の人と誠実にかかわり続け、神の愛を示されました。教会はその姿勢を大切にして支援活動を行ってきた…。」「漆原氏の活動の支えは、輪になって分かち合うコミュニティーを通していただいていると理解しました。これこそが、私たちキリスト者の活力の源だと、再確認しました。」
という箇所が心に響きました。

ポルトガルの日本最初の根拠地⑧

秋吉久紀夫

それだけでなく、彼らを取り巻く貧欲な国内外の貿易商人たちの姿がくつきりと映し出されて、天正十五年(1587)に「伴天連追放令」を発布した太閤豊臣秀吉の悲壯な決意の程が理解されて来る。

それと同時に教皇パウロ三世は破門の罰を科してまで、強硬に宣言された奴隸禁止令を早くも一年後の一五三八年六月十九日に、勅書ノン・インディエンス・ヴィデオトウル(Non Indecens Videretur)で撤回してしまった。それには王権からの横槍が入つたからだとのことである。その勅書には次のように書かれていた。

「ローマ教皇が、欺瞞に基づく予断に寄つて発布した事項を修正・撤回・変更することは不適当なことではない。予が愛子カルロ国王は、先年予が発布した教書が、イ

ンディアス諸島の政治と幸先よき運営に支障を来たしているとして、……使徒座が寛大な措置を講ずるよう謙虚に願い出た。そこで、予の本心は誰をも傷つけるところなく、また、カルロ国王の尽力によつて、彼の地にキリストの御教えが短期間に弘布されたことに鑑み、同時に、聖なる事業の障げとなる

ことは、何物たりとも除去したいがために、使徒座の権威に基づいて、前記教書を撤回・失効・無効とされたと見なすよう欲する。

ニース城外・聖十字架の館にて、漁夫の印章をもつて、一五三八年六月十九日 教皇登位第四年

だつたのである。日本に到来した開国時期のポルトガル宣教師たちが、ポルトガルの貿易商人らと連帯して、日本占領計画を画策していたかどうか。やはり改めて問い合わせてみると必要はある。それには具体的に在日した神父たちの行動を考えてみるとよい。先ずカブラル神父(Francisco Cabral,S.)と、コエリヨ神父(Gaspar Coelho S.)とを挙げてみよう。

カブラル神父は一五七〇年に布教長として来日した神父で、彼は一五三三年頃、サン・ミゲルの貴族の家に生まれた。ここは元はスペイン領で、後にポルトガル領となつた地方で、最初の教育を首都リスボンで受け、次にコインブラで学習した。十七歳の一五五〇年に、インド副王ノロニヤと共にインドへ渡り植民地軍に入隊、一五五二年にオルムス遠征に参加。その時にイエズス会士のヴァス神父に出会い、その感化で宣教師としての道を選択。一五五四年にゴアの修道院に入り、一五六二年にバ

サインのコレジョの院長となつた。一五六八年、カブラルは日本の布教長に任命され、一五七〇年に着任。彼は日本でも積極的に活動し、元ポルトガル貴族であり、軍隊の高官としてイエズス会士に対しても修道会の戒律を厳守させ、大村や豊後などで集団洗礼まで強制させた。必要に応じて強制的な武器の使用も容認し、そのため彼は大村・有馬・豊後などの教会の保護者であつた領主たちに、ポルトガルの軍事援助をも約束し、武器や火薬の補強も是認していた。

またコエリヨ神父は、一五三一年にポルトガルのオポルトに生まれ、一五五六年にインドでイエズス会に入り、一五七二年に日本に派遣され、大村で強制的に領内の住民に村ごとの集団的な改宗を迫り、また大村や有馬の内政にも口喧しく干渉していた。彼は一五八四年にサンチエス神父から中国への征略を知らされ一五八五年三月三日付の手紙をマニラに送つていった。

(次に続く)

靖国神社 豆知識その3 (Y)

12月26日靖国神社に参拝した安倍首相は「靖国に合祀されない国内及び諸外国の人々を慰靈する鎮靈社にも参拝し…」と語った。

では“鎮靈社”とは

靖国神社の参道から外れたところにあり、ほとんどの人が気づかないところにある。靖国神社に対する批判をそらすため「合祀できなかった人々も祀っています」として「昭和40年」に建てられたものす。「天皇に背いた白虎隊やイラク戦争で亡くなった人なども祀られている」と言うのだが、これは見せかけにすぎない。天皇陛下のために戦い殉じた者を“神”とし、それ以外の戦争で亡くなった人々は本来祀らないのが靖国神社である。



JR市ヶ谷駅から行き南門から入れます。本殿に向かって靖國神社があります。左側には鎮靈社があります。奥に小さな祠古びた感じの奥に見えます。(ほこら)が見えます。3年前に撮影。

ツイッター

北海道の大雪情報 (30代二児のママ)

写真は釧路町の我が家の窓から撮りました。釧路はとっても寒いところですよ。今度の大雪では、国道の除雪作業が間に合わず、家に閉じ込められてしまいました。この日は、幼稚園の催し物があったのですが、動けません。北九州はあったかいですか？ たまにですが、鹿さんも家の前に遊びにきます。



Aさん、有難うございました(みな)

輝く顔



よもぎもちを頂きました。よもぎの風味とあんこの味が絶妙で、とってもお上品な味でした。

「喜びは目から 顔から 動作から輝き出す」(マザーテレサ)
この言葉通りでした。

NHK会長の辞任は当然ですよ(上)

もう大変なところに来ていると思います。いよいよNHKは「大本営発表」にぐっと近寄ってまいりました。安倍首相の発言を前面に押し出すことで、それが当然の考えだと国民の意識に刷り込まれていますね。広報機関によって真実を真逆に伝えた戦前、戦中の反省は、カトリック教会もその重要さを認識しております。第2バチカン公会議の広報機関に関する教令を読み直すことをすすめたい。広報の影響力は、“その道をはずれた報道を不用意に受け取れば、気づいた時はそれを排撃することが困難になる”と警鐘をならしている。

沖縄通信 (中)

こちらは、半袖の人もいますよ。
やっぱり沖縄は亜熱帯です。遊びにおいでヨ～



日本漫画家協会



にしやま すずむ
西山 遼さんの諷詩

(福島の補償は進んでいない)

2011・3・11
「福島原発メルトダウン
天災だから我慢しろ
「絆」といいか
我慢せよ」



受忍は知らぬ間に国策の規範に

「戦争だ 我慢せよ 手当てをやるから我慢せよ 補償じゃないぞ 手当てだぞ」

原爆被害に国家補償を」

それから12年 占領軍の原爆に対するプレスコードが解かれていバクシヤが立ち上りました

みんな納得して飢餓とたたかいながら戦後の復興に汗を流しました

「好きで被爆者になつたのではないが、東久邇宮という尊いあ方が首相になつてあつしやつたから

八月一日 敗戦

我慢せよ

だまっておれなくなつて

沖縄という鏡を通して見える日本国

(4)



日本キリスト教団牧師（沖縄在住）

平 良 修 牧師

「4人に1人が死んでしまったと言われる沖縄地上戦」は一体何だったのかというのが問題です。勝つためではありませんよ。日本軍は10万人で、米軍は50万です。とても太刀打ち出来ません。じゃ、何の為の戦いだつたのでしょうか。本土攻撃の時間稼ぎですよ。米軍は次に何処へ来るのかわからんので本土防衛の為の時間がほしい。私はこう思っています。松代に大本営の跡があるでしょう。三つの山の中に何十キロという道を掘っています。山をくり抜いて。大本営壕は日本政府、日本軍の中核大本営、NHK、皇室の引越しです。完成はしていません。品不足で、朝鮮からたくさん労働者が働かされました。私は松代大本営が出来上がるのが一つの目処じやなかつたかと想像します。とにかく一日でも長く沖縄に米軍をくぎづけにさせる。それが日本政府が沖縄に与えた使命ですよ。だから、総攻撃をして桜の花のように潔く一瞬にパッと散るような玉碎をしてはいけないです。一日でも長く抵抗しなくてはならない。そういう使命を負っていました。本土防衛、皇室防衛のための捨て石作戦ですよ、沖縄戦は。初めから捨てられています。意外な結果ではなく計算済みです。これを見た私は第二次琉球処分と呼んでいます。

第三次琉球処分

戦争が1945年に終わり、日本はマッカーサー連合軍の支配下に置かれました。7年経つて、日本政府は米国と交渉して、占領を終わつてもらつたんです。つまり独立したわけです、日本は。その時、沖縄を米軍に預けました。小笠原もしばらくはそうでしたが、引き続き米軍に預けますからとそれを代償にして独立を回復したんですよ。なんでそんなことができるんですか、日本という国は。沖縄も血を分けた国民ですよ。「沖縄だけ離すわけにはいきません。

沖縄も一緒じやなきや独立は今でなくともいいです。もつと待ちましか。このことを私は第三次琉球処分と言うんです。それができるわけです、沖縄に対しては。みなさん、肉親を切り捨ててほかの家族がおいしいものを食べるつてなかなかできないでしょう。情がありますから。その情が無いことです。これにはもう一つ問題がありました。これが起きる5年前、昭和天皇が意思表示を既にしています。天皇メッセージと言われていますけれども、アメリカ政府に対して提案をしています。憲法で禁止されているものすごい政治行為です。今の憲法では天皇は政治行為は許されていません。お祭り騒ぎをすることだけ、式典だけ許されています。けれどもマッカーサー司令官に対して天皇の通信が行われています。「沖縄を25年か50年、またはそれ以上の統治下に置いてください。そのことは日米両政府にとつて非常に有効です」という提言を昭和天皇はしています。この文書を伝達したシーポルトというマッカーサー司令部の政治顧問が自分の手紙を添えていました。「明らかにこの行為は天皇自身の利益を考えてのことである」ちゃんと書いてあります。どんな利益だつたのでしょうか。その頃の天皇は第一級の戦犯として軍事裁判に立たされると可能性がありました。それを避ける為に贈物をしたんです。

編集後記

1月にSiさんと一緒に伝道所訪問し牧師と対話をしました。宗教や社会問題について二人の会話を黙って聞きながら、私は一言だけ感想を述べました。「お話をあったように教会だからこそ発言しなければならないものがありますね。首相の靖国神社参拝問題は、国家権力と特定の宗教団体との結びつきの問題が。宗教本来の役割の中に基本的人権が奪われそうになるとき声をあげねば。」牧師は間髪を入れず「大事なところです。そこが。」牧師夫人も「ドイツでは教会が戦後まっ先に国民と世界に向かって謝罪しました。キリスト者たちが戦争の流れを止められなかったことを。」(瀬下)

してくださいと言わんばかりのことでしょう。そういうことを含めて言っていると思います。シーポルトは「明らかに天皇自身の利益のためである」と米政府に伝えていますね。(続く)